

情報空間における身体表現と表象文化の実践

第一回、第二回

安田登（下掛宝生流）

●情報空間

●時間と空間

●いま、ここに起きていることは

●過去→「いま」→未来

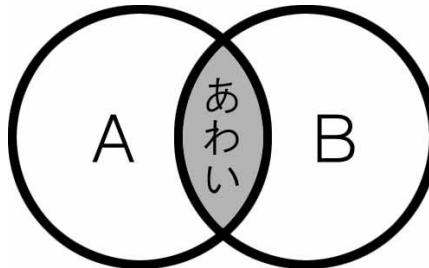
能という物語



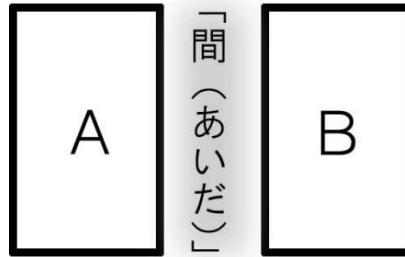
『高砂』待謡

●型　・　・　「桑林の舞」

● すり足



一間（あいだ）



● 「あはひ」

我ニ浦のねゑよあうま、四才せひーおを
 附もる忍ふゑきよ花隊、春樂やへ靈
 香、四方よ薫に先だおと、風ノ如前よ、
 乞成ねようつゝき、衣かまうよまで
 えまがふる音、ぬふて左乃、衣にあくを、
 いづれ取てゆりぬるに、人ふをひせ、家乃
 家のなせ、とねり、となくせ夜を
 あかづ乃ふくゆ行けに、それゆそ、あ是を
 ひろひき、夜にまは程よ、ぬくゆりゆよ
 て、史の天人の羽衣とて、猶く人間よ、其ふへ
 ま、物よ、非を、本乃、とくに、是ゆ、わき そも
 ば夜の、ゆまよ、ぬ、天人に、よ、あ、まは
 ウや、志う、ハ、ホセの、奇物よ、め是、國北
 寂と、なまく、あ、夜を、ゑ、事有、モ

てやも羽衣なみては花の名もへ
天よよぬんとむけふまドアおどても
在アたび枝わき^上れば山詞アをゆよりを詠
ちくきう力を得アキより壯ア威アいな
き天の羽衣アを隱ア叶アふまドアて立
のまばア今アはさあうア大人も羽アなき
鳥アとくにアわきアあかんとまれアば夜アあ
いア地アよ又アもめア下ア卑アなりアわきアとあ
らもアして角アやあくんアうなアめアとアちく
きう夜アを應アきねア力ア及アびア詮ア方アも
上ア波アの瀬ア乃アきうかきア乃ア花アも大ア波
くア大人アのふ裏アも周アの前アは見アて
あまアや